

地域企業・産業資料デジタルアーカイブについて

- (1) このデジタルアーカイブは、東京大学経済学図書館が所蔵する地域企業・産業資料のうち、印刷物および近代の文書類について順次デジタル化をすすめているものです。
- (2) このデジタルアーカイブの利用に際しては「[東京大学経済学図書館電子資料利用規則](#)」に同意したものとみなされます。
- (3) 印刷物など他媒体への使用については、東京大学経済学図書館までお問合せください。
- (4) 画像はカラーです。画像の撮影には文字が視認できるよう十分な注意を払っていますが、資料の欠損、変色、褪色等の劣化や、ノド部分の状態によっては、原本の文字が全て写っていないものがあります。これらについては資料の原形を保ちつつ、出来る限りの範囲で撮影したものととして了解下さい。写りの悪い資料については、東京大学経済学部資料室にて、所定の手続きにより原本の閲覧をお願いします。
- (5) 本アーカイブに関する質問等については、東京大学経済学部資料室までお問い合わせ下さい。
- (6) 本デジタルアーカイブの一部は、独立行政法人日本学術振興会平成 27 年度科学研究費補助金（研究成果公開促進費）課題番号 15HP8021 の交付を受けて作成しています。

昭和十六年十二月八日

自昭和十六年六月一日
至昭和十六年十二月三十一日
第三十期營業報告書

鳥取合同運送株式会社



自昭和十六年六月一日
至昭和十六年十一月三十日 第三十期營業報告書

一 概 況

聖戰茲三四年ヲ起ヘ、運搬様々ノ入手難、人的資源ノ拂戻ニ加フルニ
凡斯備消費規正ハ長期未決ニ及ビテ益々強化セラレ、当社化業ノ益
行上多大ノ困難ヲ感シタルモ、化業員一同、小運送被込ノ未決ト其ノ
突破ハ克ク此ノ難ヲ突破シテ公用物ヲ初トシ、他各般ノ重要
物資ノ運送ヲ完遂セリ。
尚程ノ季節貨物タルニモ、紀永ハ悪天候ノ為メ減收ト同業組合ノ
輸送方法ノ改革トノ為メ昨季取扱ノ五分ノ三程ノ度ニ減少セリ。
尚倉社ハ産業報五会結成以來一季ヲ経過セルヲ以テ一周年當
日以後、記念式、家族懇談会、陸上体育大会、小供等ノ等々諸種
ノ活動ヲ為シタルトモ、尚會社ノ負擔ニ帰シタル經費モ亦前期ノ倍

額以上に昇りたるに生ノ効果ハ多クナリキ。

尚且社代業務ヲ為すハ従来業務ノ所ナリシモ作業力ヲ強化スル為メ定期未収ニ於テ全部之ヲ悉ク社ニ買収ラシメタリ。従業員ニ弟スル家族手当ヲ八月ヨリ、役員ニ弟スル報酬ヲ九月ヨリ支給ヲ開始セリ。

日米交渉ノ前途暗澹トシテ送賄シ難ク太平洋ノ風波急ヲ告クル状、従業員一同益々小運送報志ノ精神ヲ堅持シ輸送業務ニ極力セントスル也ナリ。

二、株 主

株主之株数トモ異動ナシ。

三、役 員

監査役令負任期満了ニ付昭和十六年六月二十日定期株主総会ニ於テ選挙ノ結果左ノ通り再選主任セリ。

田中 岩 彦

足立 政 治

魚 谷 鉄 彦

昭和十六年七月十日臨時株主総会ニ於テ取締役一名選挙ノ結果左ノ通り再選主任セリ

本 村 繁

四、株 主 總 会

昭和十六年六月二十日 第三十九期決算確定

監査役 選挙

取締役 選挙

定款変更

役員報酬支給ノ件

五、役 員 更 替

昭和十六年六月五日

第二十九期決算三票不几件

監査役選考三票不几件

株主總會招集一件

(その他)

七月三日

役員報酬支給三票不几件

役員手当支給三票不几件

取締役補充三票不几件

定款変更一件

支那人代理任命一件

臨時總會招集一件

九月七日

家換手当役員報酬支給三票不几報告

十月五日

二十七期報送状況報告

梨箱送付其支給一件

有車(労働員所有)買收一件

有車買收資金(貨物自動車(小型共))

代償化費金補達一件

六、総業員

事務員 三三名

給仕 五名

電話交換手 一名

雑 婦 一名

労働者(運転者共) 一〇四名

七、登記事項

一、監査役改選 昭和十六年六月二十四日

一、取締役選任 七月二十二日

才房務多扣款 二七〇九、三七
 车库並才房務多扣款 五、六三〇、五七
 防火用水機 一五三、〇〇

運搬機具

貨物自動車 二 八八五、八七一
 小型 九 五、〇八九、八六
 荷車 二九 四、二七八、九六
 揚子 三 一五九、〇〇
 シート 一五 三四六、四三

什品

金庫 二 七五〇、〇〇
 電話 五 二、一〇〇、〇〇
 電話交換設備 一 一、三二六、八五
 四押消火ポンプ 一 四四三、〇〇

營業費

投 七、〇〇

一八、七三二、九六

四、六一九、八五

三五、〇〇〇、〇〇
 六、七三八、二〇

有價証券

日本通運株式 一〇 五、〇〇〇、〇〇
 大北火災株式 三〇 三、一五〇、〇〇
 支那多美公債 四、二五三、二〇
 報玉債券 三、二〇〇、〇〇
 昭陽債券 一、三三五、〇〇

流動負債

他店貸入 三、八〇〇、〇〇
 他店貸出 二、八八〇、〇〇
 著者主貸 四、八九〇、〇〇
 雜口為主貸 三、六〇〇、〇〇
 未收取立金 一、二〇〇、〇〇
 未收金 一、六六七、三四
 十月分宅敷集肥料 一、六一三、四二
 十一月分 六、九三三、〇三

寺小為物配送料

六、七三八、二〇

五、八七六、四七

八、四六六、五一
 一、〇二三、五五
 二、一九〇、八八
 六、〇八七、七七
 一、二五九、五二
 五、五三二、〇九

工月分小口積卸料 一五五九、三〇

六九五、四九

取引手形 二 四九五、四九

銀行預金 二 二〇〇、〇〇

振替貯金 大及三六一〇

現金 七、七五四、二一

雑勘定 六、三九四、五〇

貸掛金 半益銀出分 七二〇

差入滞有償証券 四、五〇〇、〇〇

日本通運株 九〇 一、〇七〇、〇〇

従業員積立代用証券 支那多口庫債券分 二、八九三、八四

用度品 二、二二一、八四

か所用未炭 一七二、六〇

雑 五〇〇、四〇

作業衣 五〇〇、四〇

員債勘定

員債総額

長期員債 一四八、五八三、六四

従業員積立金 従業員一四三名積立金 五、八三三、一七

短期員債 二五、九六三、八七

支拂手形 七、五〇〇、〇〇

山陰合同東支店 二 三、五〇〇、〇〇

多取信用組合 一 四、〇〇〇、〇〇

未拂金 一、三〇六、八八

預り金 五、八二二、九九

他店借 一四、一七九、四九

未松取立金 二、二七一、三〇

高掛預り金 一、二三五、五一

引当勘定 五、四五〇、〇〇

退済給与基金 五、四五〇、〇〇

雑勘定 二、〇三六、六二

小計 三〇三六六二

二〇三六六二

収入金
七尺 本勘定

一〇九二九九九八

資本入金

八〇〇〇〇〇〇

法定積立金

一四〇〇〇〇〇〇

前期繰入金

八九四四七

前期益金

一四、四〇五、五

一〇、換益計 為非書

一、双業換益

收

入

換

費

差送收入

一八〇、四一六、三四

差送運賃

一一三、五九四、六二

列著收入

七、八〇三、〇七

差送掛費

一〇、八五二、六四

化業收入

一〇、五二二、九〇

(列著掛費)

五五、九六八、九八

(作業掛費)

一四、三二七、二二

(作業差益)

六、二四八、八五

(作業差益)

六、一六四、〇

九、八九五、五〇

計

二六七、七三二、二一

双業換

九、〇三〇、七七

三、双業換益

收

益

換

費

現業差益

二九、一九一、九八

双業換費

八七、一七八、七二

收入利息及配当金

一九一、八二

諸業換費

七、四九二、五七

雜收入

五九、八〇

双業換益

二四、七七二、三一

計

一、九四四、三六〇

計

一、九四四、三六〇

三、純換益

双業差益

二四、七七二、三一

固定資産償却

一〇、三六六、八〇

計

二四、七七二、三一

前期純益

一四、四〇五、五一

一、一、利益

金 益 分

法定積立金

一、〇〇〇、〇〇

前期差益

一四、四〇五、五一

前期繰越金

八九四四七

計

一五、二九九九八

正豫後子基金
株主死当金
後受資子金
後期繰越金

計

二、五五〇〇〇
八、〇〇〇〇〇
三、二〇〇〇〇
一、五四九九八
一五、二九九九八

右之通り右表等之振也
昭和十六年三月八日

右の取

台因運送株式会社

取締役社長

由岩冢浩

取締役

本村 肇

同

松ノ巻 東 吉

同

但見 典 平

同

新井 幸 三

右表等は右表等十千トヲ確認

振也

監査役

田中 宗 彦

同

田中 宗 彦

同

魚谷 義 彦